

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 6 年 1 月 31 日

事業所名 ほしのこ大森

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			東京都の設置基準では、児童一人あたり4㎡と定められており、当事業所の指導室は66.34㎡あり、基準を満たしております。
	②	職員の配置数は適切である	○			児童5人につき指導員1人の配置基準があり、その基準を遵守しております。また、様々な視点から児童を見ることが出来るように有資格者(作業療法士、教員免許等)を配置しております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			事業所が1階である為、段差無く入室が可能です。また、教室内の机や壁の凹凸等、児童の怪我に繋がる可能性がある場所には、コーナガードを設置し、安全に留意しながら活動を行っております。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			朝のミーティングの時間を使い、日々の療育や業務への取り組み方について話す時間を設けたり、前日の支援内容の振り返りを行ったりしながら、業務の質を高められるよう努めております。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者の方から頂いたご意見・ご要望については、真摯に受け止め、事業所あるいはグループ全体として工夫できる点や改善策の検討を行っております。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			こちらの自己評価の結果につきましては、保護者向けに実施した評価アンケートの結果と併せて、本社HPやHUGの活動記録にて公開しております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		姉妹教室と連携をはかりながら会議や書類巡回を行い、業務の改善を図っております。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			月に一度、グループ全体でのミーティングを行い、内部研修を実施しております。また、外部研修についても可能な範囲で積極的に参加しております。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別支援計画書の見直しを半年に一回、あるいは児童の成長に応じて、モニタリングを行っております。保護者、児童発達支援管理責任者、児童指導員等で、児童の成長や課題、ご家庭と学校での様子をすり合わせ、個別支援計画書を作成しております。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			日常生活における基本動作や社会性、情緒・行動面、生活面を把握する為、5段階で評価を行うアセスメントシートを活用しております。また、モニタリングを実施する際に都度アセスメントを行い、児童の発達や成長の様子が詳しく分かるようにしております。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			各職員が活動を考える中で、気をつける点やこうした方が良い(改善点)についても、話し合いを行っております。また、季節のイベントや制作についてもこんなことがしたい等も個々で考えた案を出し合っております。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			朝のミーティングの時間を使い、運動や静かな活動等、活動内容について話し合いを行っております。活動を行う目的を明確にし、固定化しないように療育を組み立てております。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			当日の利用児童や利用時間によって療育内容を組み立てております。また、季節の行事等を活動に取り入れたり、休日には、戸外活動も少しずつを行っており、児童の様々な経験に繋がるようにしております。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			集団活動の内容を中心に作成していますが、児童の状況や課題に応じた目標の設定を行っております。	

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	○			毎朝ミーティングを実施し、その日の支援内容についてだけでなく、前日の支援の振り返りや児童の様子、保護者の方との連絡事項の共有も併せて行い、各職員で共通認識を持って療育にあたっております。また、状況や場面に応じて臨機応変に支援することも心がけております。	
	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			重要なことに関しては当日のうちに共有をするようにしております。翌日の朝のミーティングの時間を使い、職員間で気づいた点や気になった様子について共有しております。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			HUGにて、サービス提供記録と業務日報の記載をし、必ず確認者を設けております。また、記録に誤りがある場合には都度修正を行いながら、正しい記録をもとに日々の支援内容を検討しております。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			モニタリングは個別支援計画に基づいた支援期間内(概ね半年に一度)に、保護者と面談を行っております。また、児童の状況や様子を踏まえ、随時個別支援計画の見直し、作成を行っております。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			ガイドラインを読み直し、児童の成長に繋がるよう支援を行っております。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			障害児相談支援事業所のモニタリングについては、児童発達支援管理責任者及び、その児童に精通した職員が対応しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			行事予定や下校時刻などについては保護者を通して情報共有をしております。また、送迎時には到着の10分前連絡や、万が一遅れが生じる際には学校に連絡をし、児童の安全な引き渡しが行えるよう努めております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○	重症心身障害児以外を対象としている為、該当者なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			姉妹教室の児童発達支援事業所と情報共有を行い、継続的で切れ目のない支援が行えるよう対応しております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			○	現在該当する児童はいませんが、今後必要に応じて対応していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			サポートセンターと連絡を取ったり、サポートセンター主催の研修に参加させてもらっております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○			コロナ禍での制限も緩和され、地域行事への参加やお出かけ療育の実施、また、今年度はほしのこ夏祭りも開催しており、地域との交流の場を設けております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			ネットワーク会議に参加し、他事業所との情報共有をしており、児童の多角的支援が行えるように努めております。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			児童を引き渡す際に手短かにフィードバックを行っております。また、HUGを導入したことで、自主通所している児童の保護者の方も日々の様子の記録やコメントを通してやり取りできるようにしております。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			個別の相談支援を行い、保護者の悩み事に助言をさせて頂いております。また、保護者会等でも保護者の方同士でも悩みの共有が出来る場を設けております。	
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時にお話しております。また、変更時には別紙を配布・説明を行い、署名を頂いております。	

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③① 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			個別に相談支援を行ったり、モニタリング時に日頃の様子を踏まえ、相談が行えるようにしております。
	③② 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			ほしのこグループとして、広い会場を借り、保護者会を開催させて頂きました。
	③③ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情があった場合は、上席へ報告し、苦情内容を真摯に受け止め、迅速かつ適切に対応させて頂きます。
	③④ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			HUGの活動記録やSNSを活用し、児童の様子を発信しております。
	③⑤ 個人情報に十分注意している	○			個人情報には鍵付き書庫に保管しております。契約時に同意を頂いた他事業所との連携・照会、緊急時における医師への情報提供、事故発生時における関係機関への情報提供を目的として使用させて頂きます。それ以外の目的で外部へ流出することはありません。
	③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			視覚的ツールを用いたり、お手本を提示したりしながら、視覚的要素を多くしたり、具体的に児童が何が分かっている・分かっていないかを把握し、必要に応じて待っている間に説明を行っております。保護者の方とは、HUGの導入により、やり取りの幅が広がっております。
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			コロナの感染状況が落ち着き、近隣の小学校の校庭をお借りし、ほしのこ夏祭りを開催することが出来ました。
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			各マニュアルを策定し、教室に保管しております。保護者の方より、希望があった場合は、閲覧して頂いております。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年に2回以上の避難訓練の実施が義務付けられている為、2回以上実施を行っております。SNSやHUGにてその時の様子を発信しております。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			社内外の虐待防止研修に参加しております。また、研修内容については、事業所内でフィードバックを行い、内容の共有をしております。また、虐待防止委員会も編成されており、虐待を見逃さないよう会議をしております。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			契約時に、身体拘束についての同意書の読み合わせを行い、個別支援計画書にも記載しております。また、万が一、身体拘束を行った場合にはその時の経緯等の記録を残し、保護者の方に共有しております。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		食物アレルギーがある児童はおやつを持参してもらい、イベント等でお菓子が配付された際には保護者の方に判断していただくようお願いしております。
④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			発生時刻、場面、その時の対応について記録し、改善策や解決方法の検討を都度行っております。また、事業所内に限らず、姉妹教室で発生した事例についても共有し合い、同様の事案が発生しないよう対策にあたっております。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。